

保護者の思いを生徒らに

城南中でオレンジリボン制作

新宮市

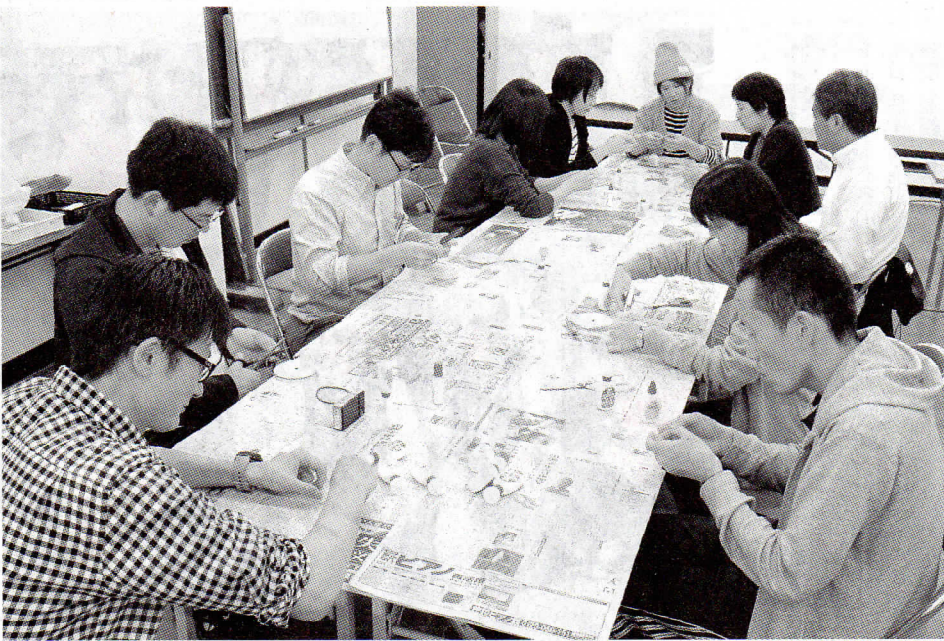
新宮市立城南中学校

(中田善夫校長) 育友会 人権部会(東原伸也部長)は26日夜、11月の児童虐待防止月間に合わせて生徒らに身に着けてもらうオレンジリボンを作った。保護者や教職員14人が、一つ一つ思いを込めて丁寧に作業した。同部が主催し、4年目

る。

保護者や社協などが学校と地域をつなぎ、みんなが温かな気持ちになれるように進めている。11月には各学年に授業を実施し、学びを深めていく予定。生徒らは月間中、制服にオレンジリボンを着けて登校する。

参加者らは「生徒たちには活動の大切さと意識を高めてほしいです」と話しながら、約200個



丁寧にリボンを作る保護者や教職員ら＝26日、新宮市立城南中学校



手作りのオレンジリボン

のオレンジリボンを完成させた。

森浦展行教諭から社会運動に対して支援や賛同

11月の体験行事

宇久井海と森の自然塾

那智勝浦町宇久井で半島の自然保護活動を展開する「宇久井海と森の自然塾」は11月行事を発表した。どの行事も、申し込みは開催日の2日前の午後5時まで。小学生は保護者同伴。飲み物は各自持参する。集合場所は宇久井ビジターセンター。

きる。

■磯遊び

タイドプール(潮だまり)で磯の生物観察やヤドカリレースを開催する。

▽日時＝11月11日(日)午前9時～正午(雨天中止)

▽募集人数＝先着5～20人

▽参加費＝500円

▽持ち物＝ぬれてもよい服装で、着替え、岩場で履く靴、タオル、帽子など

■リース作り体験

松ぼっくりやドングリを使って個性豊かなリースを作る。

を表す「アウエアネス・リボン」の色と意味の説明もあり、参加者らは熱心に耳を傾けた。

東原部長は「人権という、遠く感じるもの。大人も子どもたちも、活動を通じて向き合うことが大事だと思います。虐待やいじめ防止の大切さを忘れず、ともに成長していければ」と話していた。(榮本康人)